

クラウドネイティブ開発のための Red Hat ソリューション

アプリケーション開発は、複雑な環境とツールを必要とする複雑な作業です。クラウドにはさまざまな組み合わせが考えられるため、開発インフラストラクチャの構築と管理は、アプリケーションの作成よりもさらに時間がかかり、困難になる可能性があります。IT チームがアプリケーションの開発に加えて独自の開発環境を構築しなければならない場合、リソースに負担がかかり、生産性が低下する可能性があります。

これらのニーズに対処するために、環境とツールが提供すべきものは以下のとおりです。

使いやすさ: 直感的でユーザーフレンドリーな開発環境とツール。

信頼性: ダウンタイムを最小限に抑える開発環境。

相互運用性: 統合されており、相互にうまく連携するツール一式。

クラウドネイティブのアジリティ: パブリッククラウドとプライベートクラウドにまたがる分散型のハイブリッド環境をサポートするツール。

スケーラビリティ: 変化する顧客要求とビジネスニーズに対応するために、簡単かつ経済的に拡張できる環境とツール。

Red Hat Cloud Services を使用する理由

Red Hat® Cloud Services は、マネージド型のプラットフォーム、アプリケーション、データサービスの製品群です。これらのサービスは、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発と提供を加速します。Red Hat は、クラスタとサービス構成、メンテナンス、アップグレード、セキュリティ機能などのインフラストラクチャを管理する専任のプロフェッショナルチームによって、すべてのコンポーネントをホストし、完全に管理します。

Red Hat Cloud Services は、企業、IT チーム、開発者に次のような複数のメリットを提供します。

開発の高速化

Red Hat Cloud Services を使用することで、組織や組織のチームはソフトウェアプロジェクトをすぐに開始し、迅速に完了することができます。Red Hat が組織の環境の稼働を維持し、セキュリティを向上させ、最新の状態に保つため、組織のチームはアジリティを維持し、イノベーションに集中できます。

Red Hat Cloud Services には、開発チームの生産性維持に役立つ Red Hat OpenShift® API Management などのツールも含まれています。クラウドサービスは、市場投入時間を短縮して競合他社に勝つために必要な優位性を組織に提供します。

信頼できる環境

開発者には、新しいアプリケーションを構築するための強固な基盤が必要です。信頼性の高いインフラストラクチャが必要になりますが、Red Hat Cloud Services を使用するのであれば Red Hat がその責任を果たします。

組織のコアコンピテンシーに集中できる

ハイブリッドクラウド環境によって、インフラストラクチャはさらに複雑になっています。開発リソースが限られているため、社内インフラストラクチャの専門知識を深めることにはもはや意味がありません。

多くの組織は、ビジネスの成果に影響を与えるイニシアチブに取り組むことができるリソースを、インフラストラクチャの構築と管理に費やしたくないと考えています。Red Hat がインフラストラクチャのホストと管理を行うことで、組織のチームはコアコンピテンシー（企業の差別化を図るため、チームが市場にもたらす専門知識）に集中し、開発イニシアチブからより大きな投資対効果（ROI）を得ることができます。

費用対効果が高い

クラウドサービスは多額の初期費用を必要とせず、電力、スペース、メンテナンスなどのハードウェアの実行に付随するコストを節約できるため、経済的です。クラウドサービスでは、必要なリソースに対して料金を支払うだけです。

IT をビジネス目標と連携

開発の目的は、ビジネス目標を達成し、会社の強さを維持することです。クラウドサービスにより、基幹業務（LOB）の関係者はセルフサービスモデルを通じて開発テクノロジーを利用し、時間のかかる IT プロセスを回避してビジネス目標を達成することができます。

Red Hat Cloud Services を選ぶ 7 つの理由

Red Hat 製品はベンダー中立であり、すべてのクラウドで適切に機能します。Red Hat はオープンソース・テクノロジーに注力しており、深い専門知識を構築しながら最新のイノベーションを追求するため、定評のあるコミュニティに常に注目しています。

Red Hat は、マルチクラウドおよびハイブリッドクラウドの課題にプラットフォームレベルで対応する戦略を掲げるプラットフォーム企業です。

フルマネージドのクラウドネイティブ開発環境を提供する Red Hat を選択すべき 7 つの主な理由を以下に示します。

1. アプリケーション構築のための統合プラットフォーム

Red Hat Cloud Services の利点の 1 つは、導入すればアプリケーション構築のための統合プラットフォームを形成できることです。Red Hat OpenShift は主要クラウドとネイティブに統合されています。また、サポートする Red Hat アプリケーションサービスとも統合され、そのアプリケーションサービスも相互に統合されているため、高度に分散したハイブリッドクラウド環境でシームレスに動作します。

クラウド・ハイパースケーラーもサービスを提供していますが、Red Hat のような統合プラットフォームを提供するものではありません。彼らが提供する何百ものサービスは、あらゆるクラウドと連携するように設計されていません。各サービスは異なるクラウドパートナーによって提供されており、どのサービスを使用すべきか、どのように連携させるのが最適かはユーザーが判断しなければなりません。

2. 各種クラウド対応のサービス

1 つのクラウドプロバイダーのスタックにロックインされてしまうことを避けるためには、クラウドプロバイダーを自由に組み合わせて使用できることが不可欠です。開発者が新しく不慣れな環境で作業しなければならない場合は、フラストレーションや生産性の低下につながりかねません。

Red Hat は特定のクラウドに依存しないため、Microsoft Azure、Amazon Web Services (AWS)、IBM、Google、オンプレミスシステムなどの複数のクラウドを自由に組み合わせて使用でき、パブリッククラウドとプライベートクラウド全体で一貫した開発者ファーストのエクスペリエンスが得られます。

3. 開発者エクスペリエンスの最適化

Red Hat は、設計からプロダクションに至るまで、最適化された開発者エクスペリエンスを提供します。Red Hat Cloud Services は、以下のような開発者中心の機能を提供します。

セルフサービス・プロビジョニング

Red Hat は開発者と LOB にセルフサービス機能を提供するため、IT 部門によるプロビジョニングを待つ必要がなくなります。Red Hat Cloud Services を使用すると、開発者は必要なときに必要なものを自分でプロビジョニングできるようになります。開発者は、すべての Red Hat サービスとコンポーネントにアクセスできます。

クイックスタート

Red Hat Cloud Services は、開発者の作業開始を支援するクイックスタートを提供します。クイックスタートでは、一般的な開発タスクを完了する手順を段階的に説明します。クイックスタートは開発チームの生産性を高めるように設計されており、習得にかかる時間を短縮し、新しいテクノロジーの導入をサポートします。

開発者ファーストのインタフェース

Red Hat Cloud Services は、開発者が基盤となるインフラストラクチャではなくアプリケーションのイノベーションに集中できるようにする、開発者ファーストのインタフェースを使用します。Red Hat のユーザー・インタフェース (UI) では、ユーザー機能と管理タスクが分離しているため、開発者はアプリケーションの構築、テスト、デプロイに必要なツールと機能のみを表示できます。このサービスは Red Hat が完全に管理しているので、すべての管理機能が開発者のビューから削除されています。

開発者中心のツール

Red Hat Cloud Services は開発者エクスペリエンスに重点を置いているため、開発者の視点を反映するように設計されたツールを提供しており、その結果、開発者の生産性向上に役立ちます。

一貫したエクスペリエンス

Red Hat Cloud Services は特定のクラウドに依存しないため、お客様はパブリッククラウドとプライベートクラウドの両方で任意のクラウドプロバイダーを複数使用することができます。Red Hat は、すべての Red Hat サービスを通じて均一な開発環境、モニタリング、メトリック、アラートにより、あらゆるクラウドで一貫したシームレスな開発者エクスペリエンスを提供します。

セルフマネージドサービスとの一貫性

Red Hat Cloud Services は、Red Hat Application Foundations で利用できるセルフマネージド・アプリケーション・サービスと同じテクノロジーに基づいて構築されており、すべての開発およびデプロイメントオプションにわたり一貫性を実現します。

4. フルマネージド

生産性の高い開発環境に必要な Kubernetes などのテクノロジーのダウンロードとインストールはそれほど難しくありませんが、これらのサービスを本番環境用に準備するには多大な時間と労力が必要です。実際、企業ユーザーの 75% は、実装と運用の複雑さが Kubernetes 導入の最大の障害であると認識しています。¹

¹ The New Stack、[「The State of the Kubernetes Ecosystem」](#)、第 2 版、2021 年。

Red Hat Cloud Services はインフラストラクチャに対して責任を負い、信頼性を維持し、ダウンタイムを最小限に抑えます。マネージドサービスの場合、Red Hat はアップタイム 99.95% の SLA を保証します。サービスは常に最新で、アップグレードされており、安全性も強化されているため、開発者はイノベーションに集中できます。

Red Hat Cloud Services は Premium サポート (クラウドおよび Kubernetes コミュニティのトップエキスパートによるエンタープライズグレードのサポート) によってサポートされています。

5. アプリケーションへのインテリジェンスの組み込み

データをビジネス価値に変換するアプリケーションを構築する組織にとって、人工知能 (AI) と機械学習 (ML) の重要性は高まっています。Red Hat OpenShift Data Science は、複雑な AI/ML モデリングを実行するプラットフォームであり、インテリジェント・アプリケーションの提供を加速します。このソリューションを使用すると、データサイエンティストや開発者は、ML モデルの開発、トレーニング、テスト、反復を迅速に行うことができます。

6. Red Hat エクスペリエンス

クラウドサービスプロバイダーを選択する場合、信頼性が最も重要です。プロバイダーが、信頼性が高くセキュリティを重視したプラットフォームと、開発者中心の使いやすいサービスを提供してくれると信頼できますか？プロバイダーが開発のスピードと生産性を向上させ、市場でのアプリケーションの差別化を支援してくれると信頼できますか？プロバイダーが、お客様のビジネス目標に沿って、あたかもお客様のチームの一員であるかのように、価値の高い技術サポートを提供してくれると信頼できますか？

開発環境向けのインフラストラクチャの管理は困難な作業ですが、Red Hat はこの分野を専門としています。Red Hat は、オープンソース (Linux[®]、JBoss[®]、Kubernetes といったブランドなど) の企業導入における第一人者として尊敬を集めています。

Red Hat はエンタープライズ Kubernetes の実装を継続的に実行しており、業界全体で高い評価を受けています。顧客リストには [フォーチュン 500 企業の 90%](#) が含まれています。Red Hat は Kubernetes を全面的に採り入れ、世界に提供する一方、ミドルウェアの進化はコンテナ内で起こるだけのものではないと考えています。

7. Red Hat の考え方が反映されたクラウドサービス

提供される Red Hat Cloud Services にはすべて、Red Hat の専門知識が組み込まれています。IT インフラストラクチャの課題の多くは、正しい意思決定を行うことです。お客様の企業の専門分野が開発環境の研究と管理であるとか、開発チームがあらゆる細部の微調整を楽しんでいるなどの場合を除き、限られた時間とリソースをこうしたことに投資するのは望ましくありません。クラウドサービスプロバイダーはインフラストラクチャに関する決定を担うことができますが、組織独自のアプリケーションを差別化する方法について重要な決定を下すのは開発チームです。

Red Hat のクラウドサービスには当社の考え方が反映されており、アプリケーション開発の迅速化と効率化を実現し、基盤となるインフラストラクチャを機能させるための負担を軽減します。Red Hat の考え方が当社のクラウドサービスにどのように影響しているのか、その例を以下に示します。

スタックの作成

Red Hat は、サービスに追加のコンポーネント (お客様のニーズを満たす適切なテクノロジー) を組み込み、スタックに構築します。これには、シングルサインオン (SSO)、メトリック、モニタリング、アラートなどがあります。

構成

Red Hat は、全体的なパフォーマンスを最大化する方法を理解した上で、多くの選択肢を活用してプラットフォームとアプリケーションを構成します。これにより、開発チームはインフラストラクチャに関する専門知識を深める必要がなくなります。

管理

Red Hat は、クラウドサービスがスケーラブルで、マルチクラウド環境をサポートするようクラウドサービスをホストし管理します。たとえば、Red Hat Cloud Services を最大限に活用するために、Kubernetes の大規模な管理に関する専門知識は必要ありません。

Red Hat Cloud Services のポートフォリオ

Red Hat は、ハイブリッド・インフラストラクチャで完全ホスト型かつフルマネージドのクラウドサービスを提供します。Red Hat Cloud Services によって、運用上のサポートと責任はユーザーから Red Hat とクラウドプロバイダーに移行します。インフラストラクチャに関しては、インストール、構成、アップデート、アップグレード、セキュリティパッチ、コンプライアンス、モニタリング、ネットワークなど、Red Hat があらゆることに対処します。自社で対応していたら生産性を損ない、開発チームを減速させかねない、時間のかかる日常的なタスクや任務をすべて引き受けます。

Red Hat Cloud Services は、次の基盤テクノロジーを提供します。

Red Hat OpenShift

Red Hat Cloud Services には、まずクラウドネイティブ・アプリケーションを構築するための基盤である Red Hat OpenShift プラットフォームサービスが含まれます。Red Hat OpenShift は、ホスト型およびマネージド型のエンタープライズ Kubernetes プラットフォームで、お客様が必要とするあらゆるアプリケーションサービスがサポートしています。Red Hat OpenShift は各種クラウド対応です。つまり、選択したクラウド上でネイティブに実行され、一貫したエクスペリエンスを提供します。

Red Hat OpenShift API Management

Red Hat OpenShift API Management は、アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) のライフサイクル管理を提供するフルマネージドサービスで、開発者にとって使いやすく統合されたインターフェースから API の構築、プロトタイプ、デプロイ、監視、共有が可能です。サービスには、完全に機能する API ゲートウェイと Red Hat の SSO テクノロジーも含まれています。

Red Hat OpenShift API Management により、API の価値実現までの時間を短縮し、API ファーストなマイクロサービスベースのアプリケーションの提供とスケーリングに関わる運用コストを削減できます。

Red Hat OpenShift Data Science

オープンソースの Open Data Hub プロジェクトに基づいて構築された Red Hat OpenShift Data Science は、データサイエンティストと開発者に対し、AI と ML によってインテリジェンスをアプリケーションに組み込むためのプラットフォームを提供します。

OpenShift Data Science は柔軟でカスタマイズ可能であり、個々のクラウドプロバイダーが提供する規範的な AI/ML スイートに代わるものです。セルフサービスのオンデマンド・インフラストラクチャ、オープンソースツール、サンドボックス、コラボレーションのためのワークフローを提供します。Red Hat OpenShift Data Science は、アップストリームの Open Data Hub プロジェクトにある 30 以上のツールのサブセットを提供します。Red Hat は、マネージドクラウドサービスを通じてツールを定期的に更新し、統合やテストの負担を軽減します。

高度な分析を別個の環境でモデル化するのではなく、ユーザーは同じプラットフォームを使用して AI および ML をアプリケーションに直接組み込みます。このため、自信を持ってコードを作成し、プロダクションへと迅速に移行できます。フルマネージドのホスト型サービスである Red Hat OpenShift Data Science は、開発チームがインテリジェントなアプリケーションを市場にすばやく投入できるよう支援します。市場においてお客様はアプリケーションを差別化し、競争力のある価値を提供できます。

Red Hat Application Foundations

Red Hat Application Foundations は、ソフトウェアの開発とモダナイゼーションのための包括的なセルフマネージド型コンポーネント一式を提供します。Application Foundations のテクノロジーは、セキュリティを念頭に置き、ハイブリッドクラウド全体で大規模にアプリケーションを構築、デプロイ、運用できるように設計されています。Red Hat Application Foundations は、オンプレミスまたはクラウドで実行されるアプリケーションで使用でき、Red Hat OpenShift と組み合わせると、アプリケーションのライフサイクル全体で実行を効率化するプラットフォームになります。

まとめ

開発部門の中には、独自の開発環境の構築と管理に必要なリソースをすべて備えているところもあります。しかしそうでないところでは、リソースを節約し、新しいアプリケーションや機能の革新など、市場での自社の差別化に寄与する開発に集中する必要があります。こうした課題に対するプロアクティブなソリューションが、Red Hat Cloud Services です。Red Hat を信頼することで、プロジェクトをすばやく開始し、開発パイプラインを加速し、チームを製品の市場投入の迅速化に注力させることができます。



Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

アジア太平洋

+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア

1800 733 428

インド

+91 22 3987 8888

インドネシア

001 803 440 224

日本

03 4590 7472

韓国

080 708 0880

マレーシア

1800 812 678

ニュージーランド

0800 450 503

シンガポール

800 448 1430

中国

800 810 2100

香港

800 901 222

台湾

0800 666 052

fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat